
2020/04/08 令和2年度入学式

| by admin

4月8日(水)、本校体育館にて入学式を実施しました。本来であれば、例年通り多数の来賓をお招きし、新入生の前途をお祝いしたかったのですが、コロナウイルス対策で規模を縮小して実施しました。



緊張した面持ちの34名の新入生が入学を許可され、晴れて標津高校生となりました。明日から本格的に学校が始まります。在校生との初対面の間である対面式も実施される予定です。コロナウイルス対策で行動は制限されてしまう部分がありますが、在校生、教員ともに気持ちは無制限で新入生をお迎えしたいと考えています。

2020/04/09 令和初の対面式

| by 教職員11

令和になって初めての対面式が4月9日(木)に行われました。
コロナに対する対策を講じた結果、いつもよりも会場を広く、生徒席の間隔をあけて、密を防ぎ、途中換気のための時間を設け実施しました。





先生紹介は、総務部生徒が盛り上げました。



真剣な表情の部活動紹介！

対面式のお楽しみ部活動紹介も今年は、代表生徒で説明するのみに。いろいろと気を遣う式となりました。コロナ対策を行った初めての行事でしたが、今後の行事にもいろいろとコロナの影響が出てきそうです。こんな時こそ臨機応変！生徒会の若い力で頑張ります。

2020/04/09 春のあいさつ運動

| by 教職員11

今年も町内の春のあいさつ運動に合わせて、標津高校生徒会もあいさつ運動に参加しました。毎年、恒例の運動ですが、今年はコロナ対策を講じながら密を避けて実施。



というものの、学校までは多くの生徒があいさつ運動に協力してくれたおかげで元気なあいさつが飛び交う朝となりました。



あいさつ運動は、4月10日(金)までおこないます。

2020/06/11 道東らしい来校者

| by admin

6月11日(木)放課後のグラウンドにエゾシカが現れました。

もやの中にたたくエゾシカは非常に神秘的でした。

校舎とエゾシカが並ぶ道東らしい景色。これが当たり前の光景ではないと生徒に伝えられと思います。



2020/06/17 野付巡検

| by 教職員23

6月17日(水)、野付巡検を行いました。

野付半島は日本最大の砂嘴で、本校では毎年1年生が、普段立ち入ることができない先端部まで歩きながら、自然の観察やゴミ拾いを行っています。

新型コロナウイルスの影響により、宿泊研修は中止になってしまったので、1年生としては初めての校外行事となりました。

3密を避けるため、2台のバスに分乗して移動しました。先端部までは車両の乗り入れができないので、これより先は徒歩での移動です。



ゴミ拾いに使う火ばさみと袋を受け取って出発します。



天候には恵まれませんでした、なんとか雨は回避できました。野付半島の先端部を目指して、それぞれのペースで進んでいきます。



先端部では、鈴木教諭から漂着物やアマモについて説明を受けました。アマモの花も観察することができました。



全体で集合写真も撮影しました！



撮影後はゴミ拾いを行いました。それぞれゴミを拾いながら、バスを降りた場所まで戻ります。漁業ゴミをはじめ、さまざまなゴミや漂着物がありました。



拾ったゴミは分別し、重量の計測を行いました。全て合わせると 85.9kg もありました。内訳は、漁業ゴミ 65.2kg、プラスチックゴミ 6.6kg、ペットボトル 5.3kg、缶 3.6kg、瓶 3kg、燃えないゴミ 1.7kg、燃えるゴミ 0.5kg でした。



休憩を挟み、午後からは、トドワラ付近の観察を行いました。まずは、観察の注意点などの説明を受けます。



遊歩道を歩きながら、見つけた植物を観察しました。センダイハギのスケッチをしています。



ゴミ拾いや動植物の観察を通して、豊かな自然を残していくことの大切さを理解できた巡検になりました。

2020/06/26 ソバの種まき

| by 教職員23

6月24日(水)、自然環境系科目の授業で、ソバの播種を行いました。

ソバを植えるにあたって学校の畑を拡張しておりましたので、面積は0.7aまで広がっています！

まずは耕起を行い、準備を整えます。



今回の植える種の量は 5.5kg なので、播種量は約 8kg/a となります。



播種は「ばらまき」の方法で、それぞれがまんべんなく畑に種をまきました。



播種後は軽く耕耘をし、鳥害を避けるため防鳥テープを張り巡らせ、作業は終了です！



ソバの生育期間は約3ヶ月程度なので、9月の収穫を予定しています。
収量が低いと言われるソバですが、どのくらい収穫できるか楽しみです。
成長の様子は順次、更新していきます。

なお、ソバの種は川北の農家さんからいただきました。
ありがとうございました。

2020/07/03 **3年生進路選択**

| by [admin](#)

7月3日(金)、3年生の就職組は先日公開された求人票の詳しい見方を学び、進学組は、面接用ノートを作り始めました。今年度は残念ながら学校祭が実施できなかった分、生徒たちの進路モードへの切り替えは少し早まっている様子です。



51名全員が各々の思い描く進路に進んでいけるように、学校全体として進路活動に取り組んでいます。

2020/07/16

海洋教育 ホエールウォッチング

| by 教職員11

7月15日(水)生物を選択している3年生5名を対象に海洋学習を実施しました。今回は、標津沖でのホエールウォッチング。昨年に引き続き標津沖で鯨類の調査です。講師は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所の鈴木一平先生にお越し頂きました。



標津沖の鯨類や生態系について学習

ライフジャケットを身につけ乗船、船酔いをする前に講師の鈴木先生から標津沖の鯨類や鯨類と生態系の繋がりについて講義を頂きました。標津沖に出てからはみんなで鯨類を探索しました。なかなかイルカも見つからず、残念な感じでしたが、沖合に鳥山が見えました。鳥山では、ウトウなど数種類の海鳥がみられ、餌をくちばしに挟んでいる様子などが見られました。



クジラ・イルカを探します。

結果的に鯨類には出会えませんでした。沖に出なければ見れない海鳥たちに囲まれて貴重な体験をすることができました。船酔いになりながらもみんな頑張りました。

この授業は、日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成金を利用しています。

2020/07/29 ソバの開花

| by 教職員23

6月24日にソバの種をまいてから約1ヶ月が経ちました。

間引きをしたり、生長の観察を続けてきましたが、ついに花が咲き始めました。



花卉は5枚、雌しべは3本、おしべは8本あります。

天候不順や病害虫の発生もありますが、無事に収穫を迎えられることを願っています。

2020/07/30 学校説明会

| by 教職員16

7月29日(水)川北中学校、30日(木)標津中学校にて、中学生・保護者・先生方を対象に本校の学校説明をさせていただきました。

まず、本校の教諭から標津高校の特色(授業、部活動、進路、町からの支援)について説明を行いました。その後は、それぞれの中学校出身である本校の在校生3名が高校生活についてお話をしました。内容は生徒会活動や部活動を通して学んだこと、寮生活や進路活動についてです。中学生の皆さんは終始真剣に話を聞いてくれました。







中学3年生の皆さんは、今まさに大切な時期を迎えていると思います。
説明会をきっかけに、地域の学校である標津高校を1つの選択肢として考えていただけたら幸いです。
9月に行われる体験入学で再びお会いできることを職員・生徒一同楽しみにしております！
今回はこのような機会をいただき、本当にありがとうございました。

2020/08/07 夏季休業前全校集会

| by admin

8月5日(木)、夏季休業前全校集会を実施しました。今年度はコロナウイルスによる休業で始まりが遅い上に、学校祭もなかったので全校的に消化不良のような気持ちになってしまいましたが、明日から夏休みです。集会はいつもより距離をしっかりとって行いました。例年より少し短い夏休みですが、気持ちも体もリフレッシュして18日には皆元気に登校してほしいと思います。



2020/08/17

ゴミゼロ運動

| by 教職員11

8月5日(水)夏休み前のこの日16:00～ゴミゼロ運動が行われました。昨年度は、羅臼高校と日時を合わせて知床ゴミゼロを行いました。今年、標津小学校と中学校の児童会・生徒会に声をかけていただきました。昨年度の町内の児童会や生徒会が集まった会議でゴミゼロを一緒にやりましょうと宣言したことが実現する形となりました。



今年は梅垣君が仕切りました！

本校からは、今年も部活動を中心に多くの生徒が参加してくれました。16:00、生徒会総務部生徒の声かけでゴミ拾いが始まりました。この日のために事前に海の公園の下調べをして、参加人数を予測して、ゴミ拾いの区画を考え計画を立ててきました。



吹奏楽部の皆さん！ゴミ拾い頑張ってください。



陸上部のみんなも頑張ってくれました！

海の公園はとてもきれいな公園であまりゴミは落ちていませんが、よく探すと岩の間や海草に絡まったゴミがあったり、公園から外れたところにゴミがたまっていたり、やはり多くのゴミがあることが明らかになりました。





みんなで楽しくゴミ拾い！

部活ごと、小学校、中学校ごとに海の公園のゴミを拾いをしましたが小学生たちが海に浮かぶゴミを拾ってくれたり、中学生も高校生と一緒にゴミを拾ってくれてお互いのよき交流にもなったともいます。



ゴミの計量と分別は自然科学部のお仕事！

集まったゴミは、燃えるゴミが約30kg、燃えないゴミが20kgとなりました。予想外に多くのゴミが集まりびっくりしました。

標津町は海に支えられている町であるからこそ、みんなでゴミを拾う、海をきれいにする気持ちを大切にしてほしいと思います。今問題になっている海洋プラスチック問題についても考えるきっかけになってくれたらと思います。

小学校、中学校で生徒の参加を募ってくれた先生方、ゴミ袋等の提供を頂いた町役場の皆さんへこの場を借りて感謝申し上げます。来年も小中高のみんなでゴミ拾いしましょうね！

この行事は、日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成金を利用しています。

2020/08/18

夏季休業明け全校集会

| by 教職員17

8月18日(火)、夏季休業明け全校集会を実施しました。新型コロナウイルスの影響で、12日間という短い夏休みになってしまいましたが、生徒たちは皆元気に登校しました。集会はいつもより距離をしっかりとって行い、進路指導部長からは、各学年に向けて今後の進路活動についてお話がありました。

来週は前期期末考査です。各々の目標がしっかり達成できるよう、頑張ってもらいたいと思います。



2020/08/19

ソバの結実

| by 教職員23

6月24日にソバの種をまいてから約2ヶ月が経ちました。

生徒たちは毎週、生育調査を実施してきました。



2人で協力して、計測や記録を行っています。

約3週間前から開花が始まり、満開を過ぎたソバ畑ですが、ついに実が見られるようになってきました。



四面体の形をしているのがソバの実です。

病害虫の被害もありますが、なんとか結実を迎えられ、収穫まであと一歩というところでしょうか。収穫まで観察を続けていきます。

2020/09/07 海洋教育 カラフトマス実習

| by 教職員11

9月7日(月)標津町サーモン科学館にて海洋教育カラフトマス実習を行いました。対象は、選択生物の3年生5名。講師は、おなじみ館長の市村さんです。



「よろしくお願いします。」

まずは、カラフトマスの生態について。2年で成熟し遡上するため、遺伝的な交流がほぼ無いことやサケ科魚類の中でも海洋生活に最も適応した魚種であることを学び、セツパリマスの由来ともなった背部の隆起の理由についての考察を教えてくださいました。

本日は、実習用に3ペアを用意いただき、早速実習開始です。まずは、人工授精。



まだ時期が早いにもかかわらず親魚を確保してくれました。

雌の腹部を開腹用の刃物で切ります。オレンジ色の魚卵がこぼれ出ます。この卵に精子をかけます。まだこの時点では受精はしていません。先日生物で学習した受精の仕組みを思い出しながら、サケの受精の特徴を学習しました。人工授精は、水につけて完了します。水にさらされることで精子が泳ぎだし、受精します。





受精卵が吸水する間に解剖実習です。すでに学習した肝臓、目、腎臓などほ乳類と比較しながらその特徴を学習しました。もちろん、魚から人への進化の道のりも！



カラフトマスを用いた学習ができるという日本はもとより道内でもここだけ!と自慢できる楽しく深い実習となりました。



実習の終わりは、サーモン科学館の見学。大人気のチョウザメに指パクをしてもらいました。次回は、サケの産卵行動の観察です。また、よろしくお願いします。

この実習は、日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成金を利用しています。

2020/09/15 秋のあいさつ運動

| by 教職員11

9月14日から秋のあいさつ運動(健全な青少年を育てる標津町民の会 主催)が始まりました。本校生徒会が中心となって、部活動や有志の生徒たちが朝のあいさつ運動に参加しています。元気なあいさつをお願いします！





今朝は、学校前に 30 名近くの生徒があいさつ運動をしてくれました。秋のあいさつ運動は金曜日までですが、いつも元気なあいさつが飛び交う町であってほしいですね。

2020/09/28

令和2年度 体験入学

| by 教職員16

9月25日(金)、本校にて体験入学が行われました。根室管内から56名の中学生に参加していただき、多くの中学校の先生方・保護者の皆様にご来校いただきました。今年度は昨年度よりも約1ヶ月早い日程での開催となりました。

まず、体育館で本校生徒会役員による学校紹介、進路指導部による進路についての説明、標津高校教育振興会による支援事業の紹介などが行われました。



その後、3つの体験授業に参加していただきました。

①【自然環境系科目】「持ち運べる水『Ooho』作ろう！」



昨年度よりもさらに進化した、ブラックライトで発光する『Ooho』を作りました。

②【商業系科目】「知ってると便利！？電卓の使い方」



普段何気なく使う電卓ですが、様々な機能があることを学びました！

③【文理系科目(社会)】「意外と知らない！地図の秘密」



手のひらサイズの小さな地球の模型を使って、他の国への距離を調べたりしました。
様々な用途に合わせた地図の種類があることを学びました！

今回の体験入学を参考に、ぜひ標津高校を進路の選択肢の1つとして考えていただけたらと思います。

ご来校いただいた皆様、体験入学にご参加いただきありがとうございました。

2020/10/02 **令和2年度強歩遠足・前期終業式**

| by [admin](#)

10月2日(金)、令和元年度強歩遠足及び前期終業式を実施しました。今年度はコロナウイルスの予防の観点から、全校的な行事を行えておりませんでした。様々な配慮を行いながら、なんとか実施することができました。

例年通り、野付半島ネイチャーセンターからの出発となりますが、スタート時の密を避けるために、今年度は男女別でのスタートとなりました。



もちろん今年も先導は校長先生です。生徒たちも野付半島らしい自然を直に肌で感じながら歩いているようでした。出発当初は少し雲がかかっていた空も、久しぶりの行事を楽しんでいる生徒たちの心のように、澄み渡るような秋晴になっていきました。



途中、道東らしい見物客がひょっこりと顔を出していました。



もちろん今年も、野付半島清掃隊が道路上のゴミを拾いました。放課後、本校自然科学部により集計・分別したところ、ゴミの総量は20Kg(内、可燃ゴミ15Kg、不燃ゴミ5kg)となりました。



無事にゴールをした様子です。後半疲れている様子もありましたが、ゴールを見ると疲れが吹き飛ぶのか、皆誇らしげな様子で完歩賞の賞状を掲げています。

ゴールした後、体育館にて閉会式と前期終業式を挙行了しました。短い学期間休業ではありますが、今日の疲れだけではなく、この半年間の疲労もリフレッシュして後期もがんばってほしいです。



2020/10/07

後期始業式・第69期生徒会役員認証式

| by [admin](#)

10月7日(水)、後期始業式及び、第69期生徒会認証式を実施しました。短い学期間休業でしたが、生徒たちはリフレッシュできている様子で後期に向けて、気力が充実しているような顔つきをしていました。校長からは改めて「新しい生活様式」を意識して生活してほしいとお話がありました。現在、根室管内においては爆発的流行の兆しはありませんが、そこに甘んじることなく、気持ちを引き締めて学校生活を送ってほしいと思います。



始業式の後、そのまま第69期生徒会認証式を執り行いました。校長から認証状を受け取る姿も堂に入っています。認証状授与の後に、第69期生徒会長渡邊さんから

決意表明がありました。標津高校生たちの代表として、様々な場面で活躍してほしいと思います。



2020/10/09 SDGs カードゲーム

| by [admin](#)

10月9日(金)、総合的な探究の時間を活用して、札幌より ワークショップコーディネーター describe with 代表 高橋 優介 様をお招きして、SDGsカードゲームを実施しました。今回も密にならないよう注意して、空間を広く使える体育館で実施をしました。

まずはスライドにてSDGsについて講話をしていただきました。



SDGs (Sustainable Development Goals)とは「持続可能な開発目標」を意味しており2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための17の目標です。近年、様々な場所で行われているキーワードで本校でも、教育活動の随所に出しています。そのため、高橋様曰く、社会的な認知度はまだ3割ほどらしいですが、7割以上の生徒が認知している様子でした。



講話の中盤から実際にSDGsカードゲームを行いました。ゲーム自体は、前半の講話で得た知識を、実際にゲームを通じてSDGsを体感するというものです。ゲームは各班をそれぞれの国と捉え、全体を地球と考えます。そして各班にゴールカードを配布し、クリアするために様々なアクションを起こします。前半戦が終わるころ、各班はゴールをしますが、地球の状況はあまりよくありません。



その状況を改善するために、班の目標をクリアすることだけではなく、地球全体の状況をよくするアクションを起こし始めます。このアクションこそがこのゲームの重要な点で、SDGsを体感できる瞬間となります。生徒たちも様々なアクションを起こしており、国(班)の垣根も飛び越えて国連のようになっている状況なども見受けられました。



世界の状況メーターもこんなになりました。

感想でも、「最初は自分たちのことしか考えていなかったけれども、後半は全体のことを考えて行動できた」という意見が多く、今後もSDGsについて日常的に考え、生かしていきたいというような意見が多く、大変有意義な活動になったのではないかと思います。

2020/10/09 避難訓練

| by [admin](#)

10月9日(金)6校時に避難訓練を実施しました。今回は標津消防署様のご指導のもと、火災を想定した訓練を行いました。本校は近年、生徒会をはじめ、日ごろから防災を意識して生活していることもあるからか、非常ベルが鳴ってから、スムーズに私語もなく避難行動ができました。



校長と消防署の方から講評をいただいた後、消火器を使用した模擬訓練を実施しました。



地震や津波だけではなく、火災も起こりうることを想定し、常に万が一に備えて動けるよう心掛けていきたいと思います。

2020/10/10

北海道高等学校 PTA 連合会根室支部役員
会

by [admin](#)

10月10日(土)、北海道高等学校PTA連合会根室支部役員会を実施しました。5月に予定していた総会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点より集まることはできませんでしたが、今回は北海道PTA連合会から井村事務局長にもお越しいただき、約50名ほどのPTAの方々に標津町に集まっていただきました。



役員会においては、すべての議事が滞りなく進行し、審議事項も無事議決いたしました。役員会の終了後、指導者研修会として、昨日本校で実施した高橋様の講演及びSDGsカードゲームをPTAの皆さんと実施しました。



標津高校性たちもSDGsに対する認知度が高かったですが、根室管内の保護者達も、SDGsを意識している方々が多く8割以上の方が認知している様子でした。

実施に講話を聞き、さらに理解を深めたところで、カードゲームを実施実施した手法は同じなのですが、昨日の高校生の動きとはまた違う流れ、そして動き、考えが出てきて、大変興味深いものとなりました。参加していただいた方々も、「知っているだけと体感できるのでは大きく違う。今後の指標にしていきたい。」等の感想をいただきました。今回の経験が、今後の根室地区、そして北海道の地域創造、そしてPTA活動の活発化への一助になれば幸いです。

10月19日(月)、20日(火)両日、標津町サーモン科学館で1年生対象のサケ学習が行われました。秋も深まり雪虫がちらほらと・・・サケも秋を迎えきれいな婚姻色となっています。

講師は、チョウザメ腕ガブで有名な館長 市村さんです。お忙しい時期ですが毎年本校のサケ学習に多大なるご協力いただいております。ありがとうございます。



本日のサケは雄2雌3匹です

まずは、サケという魚について。養殖ではなく、栽培漁業であること、日本では栽培漁業の成功例だということを教えていただきました。そして、その次は、命のお話。サケを殺す＝アイヌ文化では送るということ、木の棒でたたいて送ることの重要性を教えていただきました。





代表生徒が雌のサケから採卵をしました。オレンジ色に輝くイクラはとてもきれいで、丁寧に扱い、精子を混ぜて、人工授精させました。たくさんの卵に受精をさせることができました。

後半は、進化と解剖学。生物基礎で学んだ肝臓や腎臓の機能を魚から学び、また循環系の違いをほ乳類と比較して勉強することができました。



最後は、吸水し固くなった卵を確認。未受精時の卵との違いにみんなびっくり。

今年もたくさん勉強することができました。標津町だから学べること、サケの聖地でサケを学ぶ。とても贅沢な時間でした。

この事業は、海洋教育パイオニアスクールプログラム単元開発の一環で取り組んでいます。

10月22日(木)第1学年生徒を対象に、標津町内のポー川史跡自然公園にて巡検活動を行いました。舞台は、同公園内の資料館と、カリカリウス遺跡です。生徒たちは、展示物のスケッチをとったり、黒曜石のナイフを手にしたたり、あるいは竪穴住居の間取りを書き取ったりと、精力的に活動していました。



資料館での説明と展示物のメモ。アイヌ文化や標津の歴史を学びました。



カリカリウス遺跡の竪穴式住居跡の数は 2549 軒と日本一です。生徒も必死にスケッチ。

今回の巡検は、身近な地域に眠る魅力、すなわち地域資源に触れ、またそれを自分の言葉で表現するという、得がたい経験の機会となったようです。

10月24日(土)生徒会で制作したオリジナルHUGのお披露目会とも言うべき”オリジナルHUGによる避難所運営シミュレーション”を行いました。本日は、町役場、標津みらい塾、PTA、生徒会と4者の集まりとなりました。

それに併せて、午前中は新役員と旧役員を交えた生徒会リーダー研修会を開催しました。これは、例年ネイパル厚岸で実施していたものですが、コロナの影響もあり、期間休業に実施できず、この日に合わせプチということで行いました。



まずはリー研です！

まずは、午後のHUGに向けて会場を作りから。研修会は、これからの活動に向けて、何をいつどうするという予定と企画を考える内容で実施。実は、いろいろやることもたくさん、準備も事前に考えていないと大変なことになりそう。ということで、この企画はいつまでに何をやる会議を実施しました。



材料を切って・・・



おいしくできました！

会議の後は、交流のための昼食作り。あすばるの調理室を借りてカレー作りを行いました。ここからは、標津町のみらい塾の塾生さんたちも一緒に活動をしました。一緒にカレーを作り、一緒に食べる、これからいろいろなところで協力していくことになりそうな塾生さんたちと語らいながらのカレー作りとなりました。

いよいよ午後からは、HUG。先日完成したオリジナルHUGを使っのシュミレーションです。自分たちが作ったHUGでうまくゲームがすすむのだろうか？途中でバグが出ないのだろうか？と心配しながらもゲームスタート。本日は、標津町役場の危機管理室、標津みらい塾、PTA、生徒会と総勢約30名があすばるに集まってくれました。



ディスカッションも盛り上がる！



読み手がどんどん進めます。



シートに書き込める！画期的

標津高校オリジナルHUGは、標津高校の図面、その上にビニールシートをかぶせて、情報を直接書き込めるようにしています。176枚のカードを次々と読み上げ、ゲームを進めていきました。4者がお互いに意見を出し合い、避難者をうまく誘導し、次々起こるイベントを処理して、無事HUGを終えることができました。



最後は、このカードに出てくる住民やイベントについて危機管理室の和田さんから講話を頂きました。また、オリジナルHUGの想定となっているアイスジャムの仕組みについても学びを深めることができました。

この事業は”防災教育チャレンジプラン”の一環として行われました。

2020/11/05

令和2年度 体験入学(野付中学校)

| by 教職員16

11月4日(水)、野付中学校から6名の中学生の皆さんにご来校いただき、体験入学に参加していただきました。

まず、学校説明を行いました。標津高校の学校行事や特色ある授業、活発な部活動や標津町からの手厚い支援などについて紹介しました。



次に、進路説明を行いました。「高校卒業後の進路についてどう考えているか？」を切り口に、標津高校だから行えるきめ細やかな進路指導について、進路行事の様子とともに紹介しました。



中学生の皆さんは終始真剣な表情で、時折うなずいたり、質問に答えてくれながら、話を聞いてくれました！

最後に、全学年の授業を実際に見学いただきました。
考査1週間前ということもあり、テストに向けて勉強を教え合う姿などが見られました。



緊張しながらも教室に入る中学生の皆さん



教室入室してくる中学生の皆さんに注目する3年生



標津高校の名物、生徒玄関ホールの水槽で飼育されている魚(イトウ・ヤマメ)に興味津々でした。

今回の体験入学を参考に、標津高校をぜひ進路選択の1つとして考えていただけたらと思います。ご来校いただいた中学生の皆さん、ありがとうございました。

2020/11/09 森林学習

| by 教職員11

11月4日(水) 2年生および3年生生物選択生徒を対象に森林学習を実施しました。今回は、根室振興局の専門家が講師として来てくださいました。



出前授業 よろしくお願ひします。

内容は、森の役割、我々との繋がり、そして林業という仕事についてSDGsを含めて幅広い出前授業をして頂きました。海に近い標津高校ですが、森との繋がりがあつての豊かな海になること、林業という仕事の魅力を教わりました。

お忙しい中、お時間を頂きましてありが糖ございます。

11月6日(金)1,2時間目に選択生物の3年生5名でサーモン科学館へ。連日、標高生がお邪魔していますが、本日は、海洋教育のサケ学習最終回です。

サーモン科学館の11月の目玉は、魚道水槽でサケの産卵が見られること。しかも、館長さんはその手の専門家。こんないい環境、授業に活かすしかありません。今年も、朝からいい状態のサケのカップルを水槽にセットして頂き、早速観察です。



市村館長の講話を聞きながら水槽を観察

市村館長さんの解説に耳を傾けながら、サケの産卵行動を観察します。生物の教科書には、有名なイトヨの産卵行動が出ています。サケも産卵に向けて、固定的動作パターンを持っているのです。それを間近に観察しました。雌も雄も産卵という一大イベントへ向けお互いに頑張る姿に感動、そして、無事今年も産卵の瞬間に立ち会うことができました。海洋教育としてサケをテーマに一連の学習を進めてきました。ご協力頂きました標津町サーモン科学館の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。



産卵シーンを繰り広げてくれたサケ

この事業は、海洋教育パイオニアスクールプログラム単元開発の一環で取り組んでいます。

2020/11/30 防災出前授業 標津中学校へ

| by 教職員11

11月27日(金)標津中学校で標津高校生徒会による防災出前授業が開催されました。

標津高校で開発した”標津町オリジナルHUG”を標津中学校の2年生の防災教育で実践です。



まずは生徒会メンバーとこの日お手伝い頂いた標津未来塾の皆さんの自己紹介。そして、今年2月東京大学で発表した3年生の藤森さんと多田さんから標津高校の防災の取り組みとオリジナルHUGの説明がありました。3年生の二人が伝えたこと、それは災害に「備える」こと。

会場を広い体育館へ移し、コロナ対策も行いながらオリジナルHUGをスタートです。



各グループに生徒会メンバーが2人、読み手とアドバイス、そして、未来塾の塾生さんにもお手伝い頂きました。標津高校の図面で災害時に使える部屋や使えない部屋、体育館の仕切り、通路、受付を確認してゲームスタートです。



班ごとに意見を交わしながら活発に避難者を誘導していきます。さらに DoHUG よりも多いイベントシートに対応。あっという間に終了しました。最後に役場危機管理室の和田さんより講話を頂き終了しました。





出前授業のために準備、練習、物品の準備などドタバタしていましたが無事終了しました。このような時間を頂いた標津中学校の皆さん、未来塾さん、和田さんに感謝です。これからも標津高校生徒会では、「地域循環型防災教育」の構築のために頑張ります。

2020/12/01 **後期生徒総会**

| by [admin](#)

11月17日(火)令和2年度の後期生徒総会が開催されました。



全校生徒が集まる生徒総会は今年初。ソーシャルディスタンスを保っています。

緊張した雰囲気の中でしたが、円滑に進み無事終了。



生徒会総務部より 12 月に行われる文化的体育的行事とユネスコ局設立についての説明もありました。

2020/12/01 赤い羽根共同募金

| by admin

先週、生徒会総務部とボランティア部で赤い羽根共同募金活動を行いました。



各クラス、職員室で募金を募り、多くの募金が寄せられました。皆さんご協力ありがとうございました。

2020/12/04 海洋教育 ホタテの日 ホタテ解剖実習

| by 教職員11

12 月 4 日(金) 標津町でのホタテ・バターの配布日と偶然同じとなりましたが、標津高校では海洋教育の一環としての教科横断的ホタテ学習が行われました。

1, 2時間目は選択生物(3年生5名)にてホタテの解剖。生物選択生徒にとって今までの知識を思い出しながら、今回はホタテから軟体動物を学習しました。



ホタテに左右があるんだね

まずは、ホタテの観察。砂地の海底に生息するホタテは、どちらを上(海面方向)に向いているのか？みんなで考えました。答えは、茶色い殻の方です。なので、様々な生物が貝殻に付着しています(フジツボやゴカイの仲間)。

いよいよ解剖です。



ホタテにはさまれました。

初めてホタテをむくという生徒やホタテにホタテむきをはさまれてしまう生徒、殻を外すにも四苦八苦です。



外套膜を外しましょう

殻を開けて内部構造の確認です。軟体動物特有の構造である外套膜。通称ひも（みみ）。2枚の外套膜に囲まれている姿と同じ軟体動物のイカやタコを重ねて考えてみました。こんなところに共通点！

解剖は、どんどんすすみます。つぎに足、えら、中腸腺、そして心臓です。新鮮なホタテなので、心臓の動きがよくわかりました。透明な心臓が収縮する姿に生徒たちは感動していました。



囲心腔を丁寧に外し、心臓がみえるようにします。

さて、次は、口の確認。ホタテはどうやってプランクトンを食べるのだろうか？そんな疑問は、エラと口を見ればわかります。



うまくはずせるかな？

最後は消化管の観察です。口から胃、消化管から肛門へ。いつもは捨ててしまうところでじっくりと見る機会は少ないんですが、今回はしっかりと観察することができました。ホタテの解剖実習を通して、標津町の重要な水産生物であるホタテをこれからも大切にしていきたいと思うことができました。

この授業は、海洋教育パイオニアスクールプログラム単元開発の一環で取り組んでいます。

2020/12/04 海洋教育 ホタテ調理実習

| by 教職員05

12月4日(金)に海洋教育の一環として、教科横断的ホタテ学習が行われました。

1, 2時間目には生物で解剖を行っていましたが、3, 4時間目は選択フードデザイン(3年生27名)にてホタテに関する調理実習を行いました。

講師として、標津漁業協同組合の女性部の方が4名来校してくださり、ホタテの部位、剥き方、郷土料理の作り方について丁寧に教えてくださりました。ホタテの刺身、鮭のすり身を挟んだホタテフライ、ホタテの耳の煮付けや酢味噌和え、鮭のすり身汁の4品を作りました。ホタテの調理実習を通して、地域の食文化について理解を深めることができました。

標津漁業協同組合の女性部の皆様、ご協力いただき、本当にありがとうございました。





2020/12/08

2020 年度第 2 回ユネスコスクール北海道・
東北ブロック大会 実践大賞

| by 教職
員 11

先月の 11 月 2 日(月)宮城教育大学(仙台市)で開催された「2020 年度第 2 回ユネスコスクール北海道・東北ブロック大会」にて本校で実践してきたユネスコ活動が実践部門にて実践大賞を受賞しました。



北海道・東北各県から選ばれた学校が宮城教育大学へ集まり、各学校での実践発表を生徒・教員が行いました。本校は、学校の取り組みということで実践部門にて発表いたしました。

発表内容は、特別活動で取り組んできた地域と連携した防災減災教育の実践と知床ゴミゼロ運動の活動を地域とどのように連携して実践しているのかという視点で発表しました。地域との連携の事例を高く評価され、このたび受賞となりました。

いつも町との関わりのなかで学校教育を実践させて頂き、あらためてこの場を借りてお礼申し上げます。これからも防災減災や環境活動に関わらず、ユネスコスクールとして積極的に活動をしていきます。

2020/12/08 そば打ち体験

| by 教職員23

12月7日(月)、2学年の選択授業でそば打ち体験を行いました。

今年度は、学校の畑でソバを栽培し、そば打ちをして食べることを目標に学習をすすめてきました。収穫・選別までの作業は終わっていたので、いよいよ最終段階です！

今回の実習は、標津町そば愛好会の方にご協力いただき、町の生涯学習センターあるばるで実施しました。

まずは、そば粉に少しずつ水を加え、手で混ぜながら生地をまとめていきます。



生地ができたら、綿棒で均一な厚さになるように延ばしていきます。



広がった生地を折りたたみ、包丁で１本ずつ切っていきます。



ついにそばの麺ができました！打ち粉を振り落としてあとは茹でるだけです。



茹で上がったそばです。畑を耕すところから始め、病気や害虫に苦しめられながら栽培してきた努力が報われた瞬間でした。学校で収穫したナメコやクリタケと一緒に頂きました。



標津高校産のそばです！

そばに関する実習では、畑の土作りに始まり、栽培・収穫、そば打ちまで、一連の作業を学び、有意義な体験ができました。



すべての作業を自分たちの手で行い、達成感も味わうことができました。

種子を分けてくださった農家の方、そば打ちを指導してくださった愛好会の皆様をはじめ、協力してくださった方々に感謝申し上げます。

2020/12/15

第 24 回ボランティア・スピリット コミュニティ賞受賞

| by 教職員

11

標津高校生徒会が 2020 年 PRUDENTIAL SPIRIT OF COMMUNITY（プルデンシャル生命保険、ジブラルタ生命保険等主催）の第 24 回ボランティア・スピリット・アワードにてボランティア・スピリット賞 コミュニティ賞を受賞しました。授賞式は、例年東北・北海道で行われているところでしたが、今年はコロナ禍で中止となりました（残念）。



立派な賞状を頂きました。

この表彰は、全国の高校生・中学生のボランティア活動の取り組みに対して表彰するもので、本校では初めて受賞しました。北海道・東北地区の活動の中でコミュニティ賞をいただき、生徒会の防災減災・環境活動が評価されました。評価された活動は、今まで取り組みを続けてきた”防災減災”や”ゴミゼロ運動”です。どれも標津町との関わりの中で取り組みを続けてきた活動です。これからもこれらの活動を継続していきますのでよろしくお願いします。来年は、全国で表彰されるように頑張ります！

2020/12/23 文化的体育的行事開催

| by 教職員11

12月21日～23日、文化的体育的行事が行われました。今年度は、コロナ禍で生徒会行事がなかなか開催できず、残念な気持ちになっている生徒も多かったと思います。

ようやく願いが叶い行事を行うことができました。もちろん新しい生活様式を取り入れた新しい行事です。

21日(月)は、文化的行事。学校祭のように模擬店とか山車を作ったりはできませんでしたが、みんなのお楽しみ標高 FES やクラス対抗ダンスが繰り広げられました。工夫を凝らしたオープニングでは、生徒会総務部生徒の手作り動画に始まり、標高 FES では、カラオケやダンス、選択音楽の生徒の発表、そして先生方のバンドにダンスとともに盛り上がりました。もちろん、途中で換気や消毒、マスクの徹底など気を遣いながら！。



最後の企画は、生徒会企画。楽しくみんなでゲームを楽しみ初日は終了しました。

翌日 22 日、23 日は体育的行事。今年は、いつもの運動会種目ができませんでした
が、バレーボール、ドッジボール、クラス対抗長縄を行い順位を競い合いました。ソー
シャルディスタンスを保つために応援やハイタッチなどはだめ！途中で換気しながら
の大会運営でしたが、みんな上手に適応できていたようです。

しかも今年は、観戦会場を 2 会場設営。体育館での激戦をソーシャルディスタンス
を保つ形で応援できるようにしました（HDMI ケーブル何m使ったでしょうか？）



バレーボール・ドッジボールは、男女に分かれ熱戦が繰り広げられました。長縄もクラスの団結力を高め、一丸になって記録に挑戦！みんな3日間の生徒会行事を楽しむことができました。ちなみに今年は、審査員特別賞を新しい生活様式を意識できたクラスに授与しました。



ちなみに結果は(上位3位まで)

総合優勝 2年B組

準優勝 3年B組

3位 3年A組 2年A組

クラスダンス部門 1位 3年A組

2位 3年B組

3位 2年B組

男子バレーボール 1位 2年A組

2位 3年B組

3位 2年B組

女子バレーボール 1位 2年B組

2位 3年B組

3位 2年A組

学年対抗男子ドッジボール 1位 2年A組 2年B組

2位 3年A組 3年B組

3位 1年A組

学年対抗女子ドッジボール 1位 2年A組 2年B組

2位 1年A組

3位 3年A組 3年B組

クラス対抗長縄 1位 2年B組

2位 2年A組

3位 3年B組

審査員特別賞 2年A組
となりました。

2021/01/18 冬季休業明け全校集会

| by admin

1月18日(月)、冬季休業明けの全校集会が行われました。コロナウイルスの関係で夏休みは大分短くなってしまいましたが、冬休みはしっかりリフレッシュできたのではないのでしょうか。

また、集会では、自然科学部が高文連と全国環境ユース北海道大会での受賞をしたことと、吹奏楽部が全日本リコーダーコンテストの出場を決めたので賞状伝達式を行いました。コロナウイルスの感染拡大により教育活動の制限はありますが、今後も標津高校は様々な面で頑張っていきます。



2021/01/22 出前授業(こども園)

| by 教職員08

12月25日、標津認定こども園「あおぞら」で標津高校生徒会による防災出前授業が開催されました。これは標津高校が取り組んでいる防災教育の一環として行われました。新型コロナ感染対策として、こども園へ訪問する人数を減らし、出前授業の一部内容を ZOOM で行いました。

まず、自己紹介行い、アイスブレイクとしてジェスチャーゲームを行いました。こどもたちはすぐに答えることができていました。

次に、防災に関する〇×クイズを行いました。テレビの向こうには、問題を出している先輩たちが写っています。「津波が来た時にはサーモパークへ逃げよう！」という出題では、子供たちは迷っていたようです。正解は、×で、標津の場合津波が来たときは「ベキシリ山へ逃げる」ことになっています。



最後に、時東あみさんの「オッケーBOUSAI!」をみんなで踊りました。歌詞に合わせて地震が来た時には落ち着いて行動することを確認しました。

今回の出前授業では、生徒会の担当者だけでなく、将来、保育士を目指している先輩たちにも協力していただきました。



標津高校では今後もこども園、小学校、中学校で防災に関する出前授業を定期的に行う予定です。

1月22日(金)第24回ボランティア・スピリット賞の授賞式が本校で行われました。本来であれば、北海道または東北地区で受賞式が行われるところでしたが、コロナ禍の昨今受賞式が中止となり、本校での受賞式となりました。



立派な楯とメダル

本校を代表しまして生徒会長の渡邊さんと副会長の中村さんが頂きました。

2021/02/14 **速報！防災教育優秀賞受賞**

| by 教職員11

2月13日(土)オンラインで開催された2020年度防災教育チャレンジプラン報告会にて本校の取り組みが防災教育優秀賞に輝きました。オリジナル HUG 作りと実践、出前授業(中学校、こども園)などなど地域と密に連携した防災の活動が高く評価されました。日頃から防災減災活動やさまざまな教育活動に対する町のご支援を頂き活動ができた成果だと思えます。ありがとうございます。



ZOOM を使った発表です。



防災教育優秀賞の受賞！
まずは速報でした。

2021/02/26 **卒業式予行及び同窓会入会式**

| by [admin](#)

2月26日(金)、卒業式予行と同窓会入会式を実施しました。今日は3年生も久し振りに登校してきました。3/1の卒業式に向けて、どこかさみしげではありますが、気持ちの入っている様子でした。

また、本番の卒業式は新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、1, 2年生の参列は自粛としましたので、今日の卒業式予行が全校生徒が揃う最後の日となりました。予行では、1, 2年生は気持ちを込めて送別できたのではないかと思います。また、各種表彰も行いました。表彰者は誇らしげな様子で受賞していました。表彰とは別に、標津サーモン科学館様より、昨年度に続き、入場無料券を寄贈していただきました。





午後からは、同窓会入会式を挙行了しました。山崎同窓会長に見守られながら、大隅君が力強い同窓会入会宣言を行い、第65期の同窓会生として承認されました。諸先輩たちのように、標津高校同窓生の名に恥じない人になってもらいたいと思います。



3月1日(月)、第67回卒業式を挙行了しました。先日の予行の記事にも記載しましたが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点より、卒業生と保護者、そして最低限度の来賓をお招きして実施しました。



卒業証書の授与も本来であれば、例年のように式の中で全員に手渡しをしたかったのですが、代表者のみに授与という形で実施しました。



式で渡せなかった、卒業証書は最後の LHR で担任より直々に渡されました。式を時短した反面、LHR は時間が長くとれました。担任たちも気合いが入り、様々な準備をしていたようです。



生徒たちからもいろいろ先生方に趣向を凝らしたプレゼントがあったようです。



コロナ禍でいろいろ制限があり、大変な一年だったかもしれませんが、生徒も先生方も笑顔でこの日を迎えられたことをうれしく思います。

2021/03/10 釜石オンライン研修会 開催

| by 教職員11

3月9日(火)13:30～ 3.11を前に本校と岩手県釜石市を結び、被災地を学ぶ釜石オンライン研修会が開催されました。



オンラインにちょっと緊張気味！？

この企画は、春休みに釜石へ震災研修に向かうための事前研修会として実施されました。昨年度は、北海道の津波被災地である奥尻島へ研修に行きましたが、今年度はいろいろご縁のある釜石で研修を行うことになりました。

この日は、釜石市の三陸人つなぎ自然学校(さんつな)さんと釜石市役所を結び、ZOOMでの交流、参加生徒 15 名(卒業生 2 名、OB1 名含む)、教職員、その他関係者が集まり始まりました。

10 年前のあの日の釜石の映像を改めて視聴、そして、いまの釜石をライブ中継してもらいました。標津と同じ青い空が広がっていました。

釜石市役所の方から現在の釜石のこと、あの日からの復興までの道のり、避難所や仮設住宅、現在の復興住宅のこといろんなことを教えて頂きました。また、実際に避難所のリーダーとしてご活躍した大渡町内会の前会長荻野さんに当時のお話を伺うことができました。もっともっとお話を伺いたいと思いました。

後半メインは、高校生同士の交流会。釜石高校の「夢団」の活動の説明をしてもらいました。高校生が次世代に伝える活動や高校生同士の繋がりを作り防災意識を高める活動を実践しており、本校の生徒会活動にもとてもいい刺激になったお話でした。



本校の取り組みを紹介！

本校も今までの防災減災の取り組みを紹介。特にオリジナル HUG で地域と活動してきた実践を報告しました。釜石高校の生徒の皆さんにもとても興味を持ってもらえた様でした。



オリジナル HUG カードを紹介しました



最後に感想、NHK のカメラにマイクが・・・緊張

あっという間の 2 時間。気づけば終了・・・最後に本日参加した生徒へ宿題。「復興とはなんですか？」震災から 10 年たったいまだから改めてこの間に向き合ってほしいと思います。3 月末の現地研修で感じた釜石、そして、東北の現状を標津に伝えたいと思います。



最後に ZOOM で記念写真をパシャリ

この企画は、標津町教育委員会、しべつ未来塾と協力して行われました。ありがとうございます。

2021/03/16 根室管内教育実践表彰

| by 教職員 11

令和 2 年度根室管内教育実践表彰



令和 2 年度の根室管内教育実践表彰を頂きました。継続している防災減災の活動や標津町オリジナル HUG の制作とそれに伴う活動を高く評価されての受賞です。

これからも町と協力した防災減災教育を実践していきます。

2021/03/16

標津町長・教育長 表敬

| by 教職員 11

本日、標津町役場に表敬訪問をいたしました。



釜石研修に行ってきます！

3 月 26 日に出発する釜石研修を前に日頃からお世話になっている金澤町長様と山崎教育長様へ出発前の表敬をいたしました。研修に臨む意気込み、学びの確認、多くのことを町に還元すべく、実り多い研修になることを誓いました。

今週末は、和田さんとの勉強会も行われます。

2021/03/31

防災研修(釜石～陸前高田～気仙沼～石巻～名取)

| by 教職員

11

3 月 26 日(金)～29 日(月)生徒会役員 4 名で 3 泊 4 日で防災研修に行きました。先日の釜石市とオンラインで結んだ研修会の本番です。内容が盛りだくさんなので 3 回に分けて投稿します。まずは、岩手県釜石市での研修の様子からです。

しっかりとコロナ対策をして、釜石市まで到着。

3月27日(土)いよいよ釜石研修。オンラインで見ていた光景が目の前に広がっています。まずは、三陸人つなぎ自然学校の伊藤さん(2年前に講演に来てくれた方です)の案内でオンライン研修時の中継地点へ。ちなみの津波映像を撮影した高台の避難場所です。



映像でみていた景色が目の前に広がります。多くの人がここに避難し、そして津波の恐怖におびえていた場所です。当時の黒い津波が襲ってきたときのことを想像しながら避難場所から海を眺めてみました。

釜石情報交流センターで釜石夢団の高校生と合流、避難所生活のお話をオンラインでもお会いした荻野さんから伺いました。700名近くの避難者、避難所を運営する苦労や課題についてたくさん語ってくれました。改めて地域コミュニティーの力が大切、日ごろから組織を構築することの大切さを伝えてくださいました。

さて、次は、釜石復興スタジアム(鵜住居地区)へ。ここは、ラグビーワールドカップが開催されたあのスタジアムです。ここでは、当時中学生だった川崎さんと小学生だった佐々木さんから釜石の軌跡について追体験しました。中学生が津波避難のために小学生の手を取り、地域の人に声をかけながら避難した経路、約1.6kmを実際に当時の話を交えて歩きました。



傾斜のきつい坂道もありました。でも当時はとにかく高台へという一心で走ったそうです。不安な様子の小学生の手を引いて、とにかく逃げる。目前に巨大な津波が迫ってくる。死を覚悟した・・・当時小中学生だった子がそんなことを考えていたそうです。最後は、山へ逃げ、高速道路に避難できたときに初めて生き延びたことを感じたそうです。鵜住居地区は多くの住人がなくなっています。釜石の奇跡ともいわれていますが、当たり前前を当たり前にしただけ、だから釜石の軌跡です。日ごろの防災教育の大切さを改めて実感しました。



釜石の蓬莱館の女将さんと一緒



夢団の皆さんと記念に一枚

午後は、釜石で行われていた防災のワークショップに参加。
そして、釜石いのちをつなぐ未来館(鵜住居)にて夢団との交流会。この未来館は、鵜住居防災センターの跡地に建てられました。この場所では、鵜住居地区の多くの方が亡くなりました。津波から逃れることができない状況で、津波の恐怖の中亡くなっていた方のことを思うといたたまれない気持ちになります。標津高校の代表として献花をしました。



亡くなった方々へ 黙祷

このころにはすっかり夢団の高校生グループとも打ち解け合い和気あいあいとした交流会になりました。夢団の活動を紹介してもらい、また、被災した当時の話、避難所生活の思い出を語ってくれました。



オリジナル HUG カードに興味津々

標津高校からは、オリジナルHUGを紹介。実際にカードを見せて、ゲームについて説明しました。夢団の皆さんもHUGにとっても興味を持ってくれたようでした。いつか一緒にHUGをやってみたいですね。

とても盛りだくさんな釜石での研修 1 日目となりました。名残惜しみながら夢団の皆さんとお別れしました。

研修協力：三陸ひとつなぎ自然学校、釜石市役所、釜石いのちをつなぐ未来館